

# 厚木稲門会だより

発行： 早稲田大学厚木稲門会  
 事務局 神奈川県厚木市戸田1452-9  
 朽木 達 気付  
 Tel/Fax 046-228-1185  
 発行人：吉成征一 編集人：伊保朝夫

## 平成29年度 定期総会開く 講演会・懇親会も盛大

平成29年度厚木稲門会の総会・講演会・懇親会が10月21日（土）にレンブラントホテル厚木で開催された。総会には45名が出席し、午後3時に大貫玉美幹事の司会で始まった。恒例により吉成会長が議長に選出され、次の項目が報告・承認・審議された。

- 1 報告事項（伊保幹事長）
  - ・平成28年度活動の概況報告
- 2 承認事項
  - ・平成28年度収支決算報告
  - ・会計監査報告



（高坂会計監査）

- 3 審議事項（伊保朝夫）
  - ・平成29年度活動計画
  - ・役員改選（幹事長交代他、詳細は「役員名簿」参照）

総会終了後講演会が行われ、会員・来賓及び一般参加者4名を加え計72名が出席した。

講師は早稲田大学大学院日本語教育研究科教授の館岡洋子氏で、『早稲田の日本語教育～留学生と共に学ぶ～』と題し、今や5千人を超える日本一の留学生を受け入れている早稲田大学における日本語教育に関する興味深い内容をご講演いただいた。（詳細は別掲）引き続き会場を移し、懇親会が開催された。出席者は早稲田大学、慶応厚木三田会、県下各稲門会、講師及び会員同伴者を含め68名であった。



吉成会長の挨拶の後、厚木高校出身の早稲田大学・本間知佐子地域コーディネーター及び慶応厚木三田会高橋徹也会長の挨拶を頂き、横浜稲門会星田副会長の乾杯発声の後、歓談に入った。

初参加者4名の紹介の後、恒例の抽選会が行われ和気あいあいの雰囲気の中、最後に「都の西北」を高らかに斉唱し、鈴木副会長の挨拶で閉会となった

（S52文 小林 孝雄）

### 講演会 『早稲田の日本語教育』～留学生と共に学ぶ 講師 早稲田大学教授 館岡洋子氏

早稲田大学は今や留学生が日本一多い大学となりその数80カ国5,431人、2位の東京大学（3千人台）に大差を付けていることにまずは驚かされました。そして講師が所長を務める日本語教育センターは1988年に創立されましたが、現在では留学生に対する日本語教育をはじめとして、学内外のグローバル化を支える重要な地位を占めています。講師はセンターにおける「協働学習」という理念を紹介されました。それは「教えること」から「場づくり」へ、即ち「伝授者としての教師」から「支援者としての教師」へと教師の役割を転換



することを意味します。これからのグローバル社会の中で必要なものは異なった者達が協力して新しいものを生み出すこと、即ち「協働力」であり、異文化コミュニケーションを学び、絶えざる対話を重ねることが必要との指摘に大きな共感を覚えました。

（S52文 小林 孝雄）

### 会長あいさつ 吉成 征一（昭35文）

厚木稲門会は昭和51年に発足。以来今年で41年になります。厚木市・海老名市・座間市・愛甲郡を対象地域とし、会員は190余であります。

活動は、母校早稲田大学や県下の稲門会のご支援のもと、定例の総会をはじめ同好会や趣味の会、或は社会貢献活動、また慶応厚木三田会との交流も盛んであります。

厚木稲門会は、これらの活動を通して、会員相互の親睦を深め地域社会にも貢献する有意義な会でありたいと思います。皆様の一層のご支援をお願いする次第です。



### ラッキー池田氏とのコラボなど 扉座が今年も2作品を公演

当会会員の横内謙介が展開する厚木シアタープロジェクトでは7月2日に『郵便屋さんちょっと2017』を再演。この作品は幻冬舎プレゼンツとして見城社長のバックアップのもと、つかこうへい初期作品に挑戦したもので、昨年に新作発表されて大好評を頂き、2年連続の上演となりました。今回厚木では装いも新たに大ホールで上演され、25歳以下の若者の無料招待なども話題になりました。

(写真撮影：宮内勝)

11月25・26日には新作『江戸のマハラジャ』を上演。今回はあつぎ舞台アカデミーでの指導はもち



ろん、扉座や横内作品の振り付けでお馴染みのラッキー池田氏との究極コラボ作品。ラッキーさんは最近では妖怪ウォッチの妖怪ダンスでも有名ですが、扉座の舞台でもラッキーさんらしい世界を創り出してくれました。

(S62政経 藤野 心)

### 新幹事長挨拶



この度新しく幹事長を拝命した小澤秀通です。前任の伊保幹事長同様よろしくお願ひ致します。厚

木稲門会では会員（会費納入者）の増員拡大を計るべく新規会員の募集を行っています。皆さんが参加しやすいようレディースの会、各種同好会トークサロンや総会（懇親会）など計画していますので気軽に参加してください。また、2年後の11月には厚木稲門会が主管する県支部大会を開催致しますので、是非積極的に参加ご協力賜りますようお願い申し上げます。

(S50商 小澤秀通)

“きょうよう・きょういく”

### レディースの会

#### 「歌舞伎鑑賞教室」・講演会（講師 鈴木 綾さん）

年2回の活動を実施。今年は6月に国立劇場での「歌舞伎鑑賞教室」観劇、11月に講演会を開催しました。「歌舞伎鑑賞教室」観劇は3回目。毎年、参加者が増えており、終演後の懇親会も好評です。今年の講演会は平成9年教育卒（博士・東京大学大学院准教授）の鈴木綾さんによる、演題「グローバリゼーションと途上国の生産者」。発展途上国からの食品に支えられていると言っても過言ではない私達の食卓。生産国が求める側の影



響をどのように受けるのか。実情を知り、驚きの連続でした。毎回、女性だけでなく男性も参加。今年も15名の参加者となり、今後の企画の励みになりました。

(S41文 堀 美知子)

### 日本語ボランティア

外国人のための日本語教室の講師として厚木市と座間市で4人の会員がボランティア活動をしている。普段何気なく使っている日本語ですが、外国人に教えるとなると日本語ってこんなに難しかったの！と日本語再発見の連続です。「老人」は「ろうじん」なのに「浪人」は「ろうにん」、「美人」は「びじん」なのに「病人」は「びょうにん」・・・なのですから。何かボランティアをと考えている方一緒にやりませんか？

(S39政経 二見正春)

### 稲句会

投句形式で行っています

季語はごく身近なものだが、俳句を取っ付き難くしている一つの要因でもある。角川の大歳時記には二万五千以上もの季語が採用されている。季語は単に季節の言葉であるに留まらず、和歌の伝統を受け継いでいるためその理解には少々勉強が必要なものもある。しかしあまり堅いことは言わず楽しくやるのが一番であろう。そこで面白い季語を紹介しよう。「阿蘭陀渡る」という春の季語があります。え、こんなのが季語ですか？という声が聞こえそうですが、れっきとした季語です。江戸時代

長崎の出島の甲比丹は毎年春になると將軍に挨拶をする為長崎から一月かけて江戸に入るのだが、書記、医師、通詞を含めた大勢の行列は珍しい行事だった。一行が通れば春が来た事を実感出来たのであろう。その他「魚氷に上る」「獺魚を祭る」「佐保姫」「二日灸」「腐草螢となる」「雀蛤となる」「竜田姫」「氷魚を賜ふ」「八月大名」「氷魚の使」「暦の奏」「岡見」「臘八会」等々。興味のある方は図書館へ行って大歳時記で調べてみるのも楽しいですよ。

(S41 理工 本杉純生)

### 稲句会会員の句集

平成29年度 投句会作品より  
選：本杉純生

- 晩年のこれも幸せ
- 小春かな 吉成征一
- 春の月しずかに回れ
- 観覧車 赤石智子
- 河童忌や蔵書を飾る
- 受賞作 高坂義郎
- 大黒の茶菓子のもてなし
- 蓮の花 田中健生
- 新米を頬張る妻の
- 破顔かな 伊保朝夫
- 抱きたるみどりごと見る
- 濃紫陽花 大貫玉美
- 子と共に踏む音嬉し
- 霜柱 堀美知子

英会話同好会 厚木稲門ESS ハイキング同好会

英会話同好会は、毎月2回月曜日の午後3時から90分間、厚木のamyuでレッスンをしています。マレーシア出身で子育て中の若いお母さんのジョイさんが2代目の先生になって3年目になりました。先生のベビーも最初はよちよち歩きがやっとだったのに、今ではテキストの用紙を我々練習生一人一人に配って回るほど成長しました。もちろん幼い彼の口から出る英語も完全なネイティブ発音で私に

はついていけません。勉強はテーマ毎のテキストの英文の質問に答える方法です。その前にまず自分の近況や予定を英語で語り、それに先生や生徒が質問や関連の話題などを述べるという時間があり、これが楽しくまた勉強になります。英単語が出てこない時は日本語も出ますが、それもOK。笑い声が絶えない会です。現在会員は5名で参加者募集中です。  
(S44政経 東方勝彦)

歩くトーキング同好会？



ハイキング同好会は5月21日好天の下、和泉多摩川～狛江駅コースで実施。和泉多摩川駅を出発するとすぐ多摩川沿いへ。小田急高架下を抜けて川上へ向かいます。昼食場所の西河原公園は地域団体のイベントもあって賑やかでした。その後は街中を抜け狛江駅へ。約5.3kmを楽しくトーキングして参りました。

11月3日には晴天の下、南新宿～新宿駅(新宿御苑)コースを9名で散策。駅から国立能楽堂や鳩森八幡神社(写真)を経て国立競技場へ。急ピッチで建設の進む姿は実に壮観でした。その後は大木戸門から新宿御苑へ。仏国エリアのバラ園や木洩れ日の道を歩いて昼食に。その後は大盛況の菊花展を巡り歩くなど、結局は御苑を大きく一周して新宿門を出て解散。約5kmのコースでしたが、御苑の中の方が歩いたかもしれません(笑)  
(S62政経 藤野 心)

囲碁同好会(楽しい囲碁同好会へどうぞ)

囲碁同好会は5月と10月の春秋年2回の定例会を開催し、さらにオール早稲田囲碁祭りへの参加交流をしています。今年定例会を本厚木囲碁クラブで5月14日と10月15日に開催し、それぞれ8名と7名が参加。楽しく、熱心に充実した一日を過ごしました。段級位ごとのハンデ戦ですので初心者・初参加の方でも遠慮無くご参加下さい。オール早稲田囲碁祭6月3日(土)に東京市ヶ谷の日本棋院で開催され、当会より北園7段、筒井6段、小林5段、吉成4段、永田初段の5名がチームとしてB1クラスに参加。足立、練馬A、杉並・世田谷混成、



世田谷と対戦しましたが残念ながら入賞はなりません。厚木チームは、過去計3度の優勝実績がありますので来年度以降の活躍を期待したいと思います。  
(S41 法 猪熊克行)

新企画『トークサロン』も定着してきました

様々な分野で活躍された当会の会員に貴重な経験を語っていただき、その後、食事をしながら歓談する会を昨年11月より開始したところ、毎回15名前後の出席があり、皆さんから好評をいただいています。堅苦しい講演会ではありません。お気軽にご参加下さい。H28年度下期以降の実施日、スピーカー、テーマは下記の通り。  
[H28年下期]  
第1回：H28年11月20日  
岡部 清さん(S27 文)  
『厚木市小野の小町神社に伝わる「伝説」を調べる』

第2回：H29年2月25日  
小澤秀通さん(S50 商)  
『地域福祉について』  
[H29年上期]  
第1回：H29年6月29日  
石川 徹さん(S31理工)  
『従事した都営地下鉄建設を振り返って』  
第2回：H29年8月2日  
杉崎文男さん(S43商)  
『日産ゴーン改革と関連会社での事業構造改革に携わって』  
[H29年下期] \*予定を含む  
第1回：H29年11月16日  
\*スピーカーの都合で中止



第2回：H30年2月21日  
大貫玉美さん(S52理工)  
『医師より“一年後いないかも”肺がんから九年』  
◇トークの概要はホームページに  
(S39政経 二見正春)

# 平塚稲門会主管の県支部大会

## 厚木稲門会から24名出席

平成29年度の県支部大会が11月4日（土）平塚稲門会主管にて、大磯プリンスホテルで開催された。鎌田薫総長は「総長就任以来県支部大会は8回目の出席、3選禁止規定があり来年11月4日任期満了。早大生は人間力に優れており危機に強い。大学にもの申したい人のため総長室に社会連携課を作った。」と挨拶された。

記念講演は「大隈さんの歴史の見方」というテーマで廣木尚早稲田大学史資料センター助教が、桜木町掃部山公園にある井伊直弼の銅像の除幕式に招かれた元勲の中で、唯一大隈だけが出席し祝辞を

述べたこと、大隈重信は歴史を利用するのではなく歴史を学ぶ姿勢があったことを紹介した。

懇親会のアトラクションは女子中学生による「よさこい踊り」、さいごは大学応援部とチアガールのリードによる校歌斉唱で散会した。

県下14稲門会から約350人参加、厚木稲門会からは次の24名が出席。大橋賢三郎、吉成征一、斎藤安功、高坂義郎、内藤誠一、鈴木清一、横田佳正、熊坂弘久、飯田善一、二見正春、中野捷三、川口繁男、堀美智子、草山洋一、猪熊克行、中川匡子、渡邊 東、朽木 達、



杉崎文男、東方勝彦、伊保朝夫、宇田典明、田中健生、小澤秀通。来年の県支部大会は茅ヶ崎稲門会主管で11月3日（土）寒川神社で開催されます。再来年は愈々我が厚木稲門会が主管となります。  
(S50 商 小澤秀通)

## テニス同好会 田園風景の中での健康運動！



奇数月第1土曜日(11月は第2週)企画のテニス同好会活動は、今年も雨で延期されることも無く、年

6回宇田校友宅「マーガレット・コート」で開催されました。コートはJR相模線脇の名峰丹沢大山を望む田園風景のど真ん中に位置し、春は水面に早苗が映え、夏は緑の田圃を渡る風に吹かれ、そして秋にはたわわに実る稲穂に囲まれ、自然あふれる環境で、毎回優雅な戦いを繰り広げました。今年は毎回10名弱で、年間延べ49名の参加者となりました。熱い戦いの後、昼食は恒例の「竹葉庵」で手打ち蕎麦・天婦羅・ビールを楽しみ、

最後の11月は、コート脇のバンガローで宇田シェフ手作りの芋煮鍋にキリタンポを加え、夕焼けに燃える大山を眺めながら懇親会を楽しみました。次回恒例は平成30年1月6日(土)正午からの予定です。年々メンバーの高齢化がすすんでおりますが、病院通いの代わりに健康対策を兼ねて、テニス初心者も勿論、昔取った杵柄に再挑戦と学生時代の思い出話を楽しみたい方も気軽にご参加ください。  
(S41 商 渡邊 東)

## ♪うとてんか！ 都の西北 ♪ 楽しいカラオケ同好会

カラオケ同好会は、5月30日と10月24日の年2回厚木駅前のビッグエコーでカラオケ会を開きました。時間は12時から始めてほしい4時頃までの4時間。参加者は春が8名、秋の会は11名でした。最近メンバーは同じ顔ぶれになりますが、春秋とも女性の参加で花を添えさせていただきました。また秋には健康を害し参加できなかった方が久しぶりに散歩を兼ねて、カラオケ店まで歩いて参加されました。大変ありがたく思っております。まだ声が十分にでない

と言われましたが、皆の前で歌う事がリハビリになるとこの会の役割を改めて知りました。乾杯のあと食事をしながら順番にマイクを回して、各自思い思いの歌を一人5曲ぐらい歌いました。私は女性演歌専門ですが、他の方は戦前の軍歌や戦後の懐かしい歌、また英語の歌や中国語の歌、更にスペイン語の歌まで飛び出してとさまざまです。最後は都の西北を歌ってお開き。なお今年には会費を値下げしました。稲門会の補助や寄付の繰越金があり、スタートの乾杯



のビールやつまみはそれでまかないました。来年もこの会費で続けられます。途中からの参加でもいっつ帰られても自由という気軽の会なので是非皆様のご参加をお願い致します。  
(S44政経 東方勝彦)

### ゴルフ同好会

### 稲門祭

## 第40回厚木稲三会ゴルフ(早慶懇親ゴルフ)

## 第52回ホームカミングデー



第40回参加者

平成29年10月11日第40回稲三会ゴルフ記念大会を開催した。春と秋の年2回開かれる慶応厚木三田会と厚木稲門会とのゴルフ大会も40回目となり、今回はいつもの会場厚木を離れ名門平塚富士見カントリークラブに於いて同クラブのクラブチャンピオンでもある渡邊忠義氏の紹介で行われた。

絶好の快晴に恵まれ名物の富士山の勇姿を見てから慶応4名、早稲田15名は和気あいあいとプレーを楽しみました。

(慶応の人数は気になりましたが)団体戦は僅差で三田会が勝利し、今回から新しくなった優勝カップ

を手にしました。個人戦では三田会の三澤氏 (S55卒) がハンデ13.2ネット71.8の優勝。準優勝S47卒W雑賀氏、第3位(三田会賞)S40卒W渡邊氏と続いた。試合後の懇親会は通常の時と違い料理も景品も(注)多く時間の経つのも忘れて大いに盛り上がりました。

(注) 渡邊忠義氏の顔でクラブからキャディバッグとゴルフバッグの寄贈がありました。

尚、今回は三田会から1万円、稲門会から同好会補助金の積立てから2万円の寄付がありました。次回はH30年5月16日(水)大厚木CC開催の予定 (S41商 草山洋一)

大学主催の「ホームカミングデー」には、毎年、卒業後15年目・25年目・35年目・45年目・50年目の方々が招かれています。そして、ホームカミングデーと同じ日に開催される校友会主催の「稲門祭」は、早稲田の杜で校友の親睦を深める場であるとともにそのすべての収益を校友会奨学金として現役学生に贈るイベントでもあり、大学の「学園祭」とも連携しています。

10月15日早稲田大学キャンパスで開催された「稲門祭」は、年に一度の校友会最大のイベントです。トークイベントや稲門音楽祭、模擬店、参加団体企画など様々なイベントが行われました。稲門祭のゴミ分別は、ゴミ処理専門業者の指示により6分別となっています。当日は生憎雨でしたがキャンパス庭園サービス本部第2班(庭園班)の実行委員として参加し、来場者に学生と一緒にエコ分別の声掛けを行ってきました。

(S50商 小澤秀通)

## 厚木稲門会”新会員増強活動”

## ソフトボール同好会

### 茅ヶ崎稲門会に参加

我が厚木稲門会の対象地区は厚木・海老名・座間・綾瀬・愛甲郡です。会員は現在200名弱で、他地区同様、会員減に悩んでいます。昨年までは2年おきに大学から早稲田卒業生の住所資料を手に入れ、それを利用してダイレクトメールを送り勧誘を計っていましたが、なかなか成果が上がりませんでした。今回は幹事で手分けし1968～1988年卒680名を対象に直接訪問して資料を手渡ししながら勧誘しようということで実行しました。資料としては、同好会など活動内容と「稲門会だより」など厚木稲門会の実態を紹介しております。実際に訪問は、住所を頼りに、地図を片手に探し回る作業なので場所によっては自動車や自転車・徒歩といろいろ苦労しながらの行動でし

た。仕事をしている人もおり、不在で会えない人が多く、その場合は資料をポストに残しました。

また引っ越してしまった人や本人が不在で家族に託したケースもありました。人によっては剣もほほろろの人、まったく興味を示さない人と、さまざまでした。結果として10名の新人を獲得する事ができました。今後も会員を増やす方法を検討していきます。

(S43理工 朽木 達)

いくら稲門卒同士と言っても全く面識がなければ、なかなか入ってはくれないのが実情です。一番効果のあるのはやはり「人の伝手」です。皆さんの周りに稲門OBは居ませんか?是非声掛けをしてみてください。(編集人)

ソフトボール同好会は茅ヶ崎稲門会ソフトボール同好会に参加する形で活動しています。ソフトボールといっても60歳以上が参加資格の老人向けの安全なものです。ボールは一般的な3号より2周りも大きなものであまり飛びません。投手は山なりの緩いボールを投げなければならず、ボールにバットを当てやすいのです。また各ベースは2個ずつ連結してあり打者と守備者が交錯しない工夫がなされています。練習は月に3～4回茅ヶ崎市市内であり、試合は大会、リーグ戦合わせて年間20数試合あります。経験者、初心者問いません。青空の下で思いっきり汗をかきませんか?何かスポーツやりたいけどきっかけがなー?という方お待ちしています。(S45法 伊保朝夫)

## 早慶合同夏の懇親会開く

### アトラクションはフルーツ&キーボード演奏

恒例の早慶夏の合同懇親会が6月17日(土) レンブラントホテル厚木にて開催された。18回目となる今回は厚木三田会主催で当会より38名三田会より28名が出席した。両会長挨拶の後乾杯。歓談に入り美味しい料理を堪能。ここであつと驚くハプニングがあった。初参加者紹介での三田会今井さんの手品だ。間近で見ていた私には全くネタが判らなかつた。手品の興奮が収まらないなか、待望のアトラクションに移る。大久保耕一さん、杉山香代子さんによるフルーツ&キーボード演奏。「星に願いを」、「コンドルは飛んで行く」、「愛



の挨拶」と続き「夏の思い出」からは配布された歌詞カードを手に参加者も歌った。「君といつまでも」では朽木さんのセリフ「幸せだなー・・・」で大いに盛り上がった。その後両校校歌斉唱。「都の西北」リードは草山さん。最後に当会鈴木副会長の閉会の辞でお開きとなった。

(S45 法 伊保朝夫)

## 平成29年度役員体制

(平成29年10月1日～30年9月30日)

- 【相談役】 大橋賢三郎 (S28政経)
- 【名誉会長】 川鍋健次郎 (S29文学)
- 【顧問】 江原 周 (S29商学)  
鈴木久昭 (S27理工)  
石川 徹 (S31理工)  
国方 昇 (S32教育)  
菊池敏隆 (S32理工)  
小林昭彦 (S32教育)  
柏木久雄 (S38法学)
- 【会長】 吉成征一 (S35文学)
- 【副会長】 鈴木清一 (S37理工)  
飯田善一 (S39商学)  
二見正春 (S39政経)  
堀美知子 (S41文学)  
草山洋一 (S41商学)  
伊保朝夫 (S45法学)
- 【幹事長】 小澤秀通 (S50商学)
- 【副幹事長】 江原正恭 (S53社会学)
- 【事務局長】 朽木 達 (S43理工)
- 【副事務局長】 大貫玉美 (S52理工)
- 【常任幹事】 斎藤安功 (S35商学)
- 【幹事】 野中 誠 (S37政経)  
熊坂弘久 (S38法学)  
川口繁男 (S40政経)  
渡邊忠義 (S40法学)  
渡邊 東 (S41法学)  
猪熊克行 (S41法学)  
本杉純生 (S41理工)  
八牧尚子 (S41教育)  
赤石智子 (S42教育)  
杉崎文男 (S43商学)  
山田晃平 (S44法学)  
武内 晃 (S44理工)  
宇田典明 (S45政経)  
田中健生 (S45法学)  
雑賀哲治 (S47政経)  
頼住道夫 (S49教育)  
遠藤英徳 (S47商学)  
小林孝雄 (S52文学)  
榎原和雄 (S53法学)  
武石 徹 (S57政経)  
草薙祐子 (S57文学)  
藤野 心 (S62政経)  
笹木 薫 (S62文学)  
見上知司 (平5政経)
- 【会計】 東方勝彦 (S44政経)  
中川匡子 (S41教育)
- 【会計監査】 高坂義郎 (S35法学)  
横田佳正 (S38商学)

※アンダーラインは新任

## 稲粋会「楽しくお酒を」

お陰様で、美味しく日本酒を楽しむ会は続いている。大山での酒祭り(年1回)への参加を軸に、県内の酒造見学、日本酒を飲みながらの語らい等を地元三田会の皆さんも交えて楽しく行っている。

近年、日本酒は、国際化に合わせて味は勿論のこと、ラベル・説明等に漢字だけではなくカナ文字等増えてきた。飲む場所も色々と特色を持っている。女性や若手の愛好者が増えたことが大きい。当会からも、大山の酒祭り認定証を手にする女性会員が生まれるこ



とを期待している。  
どうぞ、お酒に興味のある方はぜひ一度参加してみてください。

(S35 法 高坂義郎)

## 事務局だより

◎会員の異動  
(28年10月1日～29年10月30日)  
期初は180名で、期中に1名の方が亡くなられ、期末は190名でした。  
■次の方がご逝去されました。  
古座野隆 様 (S48政経)  
□新入会員の方  
張美津子 様 (S44 文)  
谷川正明 様 (S46理工)  
川村幸男 様 (S46 教)  
稲山正史 様 (S46 商)  
大貫政一 様 (S47 商)  
村主玲子 様 (S51 教)

吉水亮太郎様 (S53 教)  
小泉弘人 様 (S58社会学)  
古知屋正樹様 (S59理工)  
土井隆之 様 (H07 文)  
◎その他  
同好会活動も活発になり、カラオケ・稲粋会・ハイキングそしてレディースの会・トークサロンなど、定着してきました。  
事務局  
〒243-0023 厚木市戸田1452-9  
朽木 達 気付 厚木稲門会  
Tel 046-228-1185